

会派控室

●Tel 0797-77-2117
●Fax 0797-74-1810
●E-mail
goiken@tgikai.zaqr.s.jp

事務所

〒665-0816
宝塚市平井 1-6-14
●Tel & Fax
0797-89-4090
●HP
http://ayumukai.jp/
●E-mail
o-ayumukai
@poem.ocn.ne.jp

☆月～金 10:00～15:00
但し、不在のこともございますので、お電話をさせていただいてからお越しください。
☆事務所のコピー機・印刷機（新機種入りました）ご利用ください。（有料）
☆事務所をグループ・サークル等の活動にご利用ください。（無料）
《使用日時は電話でお問い合わせください。》
☆事務所に教育・平和・食の安全等の本があります。お気軽にご覧ください。

今年は、松江市と宝塚市が姉妹都市となつて45年。以後、スポーツや観光、議会も交流を続けてきました。このたび改めて災害時相互応援の協定を結びます。

宝塚市では、このような自治体間の協定を、阪神7市1町・フラワー都市交流連絡協議会・特例市など、90市町と結んでいます。この他にも、男女共同サミットがご縁で大船渡市と夏休みに中学生を招きスポーツ交流を。また長久手市と介助犬シンシアでつながり…

緩やかな連携も含めた「絆ネットワーク」を構築中。この思想が国の外交においても広がって欲しいものです。



大船渡市の
中学生を迎えて



議会議報

1 一般質問

私たち市議会にも同じことが言えますが、教育

委員会の動きがよく見えないために、せっかくの取組みも不信につながってしまします。今回は「開かれた教育委員会」に向けて質問しました。



1 教育委員会制度の役割と活性化

Q教育委員会の意義は

A①政治的中立性の確保、②教育の継続性・安定性の確保、③地域住民の意向の反映。以上を踏まえ、合議制の執行機関と議決機関で構成された委員会が教育行政を行う

Q市長と教育委員会の関係は

A首長から独立した機関だが、自治体の中で役割分担している

Q教育委員の公募制のメリット・デメリットは何と考えるか。また今後公募はどうするのか

A透明性の高い選任が行えるが、年齢・性別等著しい隔たりが生じる可能性もある。課題等を検討し考慮する



丸橋幼稚園で「丸橋つこうどうかい」が行われました。未就園児向けの種目もありました。
(10月6日園庭にて)



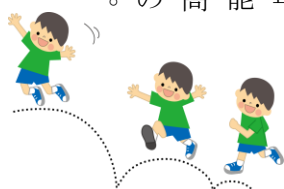
独立した執行機関といえながら、予算提案権・委員任命権は首長にあります。制度開始時は公選制を取っていましたが、党派が影響を及ぼすなど都合が生じ、現在の形になりました。経済のグローバル化、新自由主義に邁進する中、市民社会や政界でも排外主義・極右主義の機運が高まっています。現在、定例会・臨時会・協議会を行っています。全て定例会とし、議事録ももっと詳しくホームページに掲載すること。また、相馬市のように組織の活性化について、外部委員に評価を求めることも有意義ではな



独立した執行機関といえながら、予算提案権・委員任命権は首長にあります。制度開始時は公選制を取っていましたが、党派が影響を及ぼすなど都合が生じ、現在の形になりました。経済のグローバル化、新自由主義に邁進する中、市民社会や政界でも排外主義・極右主義の機運が高まっています。現在、定例会・臨時会・協議会を行っています。全て定例会とし、議事録ももっと詳しくホームページに掲載すること。また、相馬市のように組織の活性化について、外部委員に評価を求めることも有意義ではな



草津市教委では先月、公募教育委員長と公募教育長が衝突し委員長辞職となりました。加西市では前市長の政策としての公募制が不都合を生じ、現市長は廃止しました。宝塚では、多くの人材が集まるので、年齢や女性を絞っても可能です。公募制は透明性が高く、組織の刺激にもなるので、有効な策だと思います。





 災害時には学校は避難所。自己炊飯の機能があれば、温かい食事が提供

できます。学校給食は地域に無関係ではありません。そして、どの子にも関心がある「総合教育」です。



2 学校給食は食育の「生きた教材」
Q 学校での食育の推進における学校給食の位置づけは
A 健康増進、学校生活を豊かにする等7項目の目標を掲げる。担任と栄養教諭の連携あり。保護者にも
Q 学校給食会及び、学校給食会理事会のあり方について
A 1965年設立。保護者からの意見を参考にしながら、市教委と理事会が連携し、安全安心な給食を提供する
 昨年末の監査での指摘事項。年間8億円の金額が動く学校給食会の事業会計。その透明性・公平性の確保のためには、現在の私会計から議会のチェックも入る公会計にということと、手書きで処理している事務の早急な機械化を要望しました。以前、視察した芦屋市では、職員が作成したシステ



ムを使用。担当課長は指導主事でしたが、事務の効率化で学校教育事業も兼務されていました。

8月25日に勤労市民センターで開催された「たからづか食育フェア」。3百人を超える参加者があり、中でも給食調理員さんの食育劇や食育ゲームが大人気でした。

ここまで調理員さん

たちが頑張るのは、震災直後、調理員さんたちが被災地で炊き出しし（直営だからこそ動けまし

た）、食物の力を再確認したからです。また炊飯施設のある学校では、温かいご飯が配給でき、被災した方の気持ちも和んだと聞きました。宝塚市も全校に炊飯施設が整備されれば、次は食育推進計画にあるように、完全米飯給食に取り組むべきと要望しました。



フェアや給食展には、外部講師ばかりではなく、栄養教諭や地域の方話をしてもらいましょう。以前から市内各校では、素晴らしい教育研究の報告会がなされています。

市は給食試食会を地域に開くべきです。何より多額の公金を投入し、炊飯施設を整備しているのですから、住民に報告する義務があります。さらに地域には、郷土食や行事食の作り手

がまだまだ存在します。ぜひ外部講師として学校に招いて欲しいのです。

一方、地元の甲子園大学栄養学科

には、栄養教諭や食育専門士をめざす学生が在籍しています。もつと協力をお願いするべきです。

強化磁器食器は、プラ食器より重く高価ですが、安全でリサイクルも可能です。大切に扱わなければ食器は割れると知ること大切です。中学校や小規模校で試験的に使用するのも一案です。保温・視覚効果できつと残量が減るはず。

地産地消・無農薬にこだわる今治市の学校給食で育った子どもは、今親世代になっています。この夏研修会で出会った30代の今治市議と意見交換し、間違いなく食への高い意識が育っている

と確信しました。自分の命は、他の動物や植物の命を体内に取り組むことで成立します。自分が生きているということは、おびただしい生き物の犠牲の上にあるのだと気付き、ご先祖さまから受け継いだ命をつなぐだけでなく、多くの生き

ていると確信しました。

自分の命は、他の動物や植物の命を体内に取り組むことで成立します。自分が生きているということは、おびただしい生き物の犠牲の上にあるのだと気付き、ご先祖さまから受け継いだ命をつなぐだけでなく、多くの生き

市の公開会議



◆ラジオFM宝塚では、大島の一一般質問を11月19日(月)13時55分放送。
 ◆インターネット中継が始まります。宝塚市議会のHPから、録画配信しています。

物の魂が私たちの体内に共存しているのを感じる。自分一人の命ではないことの理解につながるのが「食育」です。

2 主な議案・請願・陳情の審議

・宝塚市特別会計宝塚すみれ墓苑事業費補正予算
 ↓全員一致可決



：1.4億円追加し、23億5千315万2万円とする。利用者アンケートや、全日本墓園協会・石材業者や経営コンサルタントから経営のアドバイスを受ける。指定管理制度が販促に馴染むかは課題ありと見ている

・一般会計補正予算↓全員一致可決

：(仮)宝塚北スマートインターチェンジは、当初市の負担額が7〜8千万円と試算していた。しかし、大型バスが通過できる計画に変わり、用地買収費等が追加、2億2千6百万円となっている。川面・中筋で120人定員の認可保育所を誘致し、法人選定を行う。ポリオ不活化ワクチンは地方交付税措置だが、個人負担はない

・宝塚市たばこ税を正しく理解していただけるための請願↓全員一致採択
 ：請願の見出しと項目の不一致はあるが、喫煙の有無に関わらず環境の整

備の必要性や、たばこ税が市に貢献している現状がある

・平成23年度宝塚市病院事業会計決算↓全員一致認定

：患者数・病床利用率は増、今年度純損失は4億7千万円余、累積欠損金は136億7千万円余となった。苦情が多い待ち時間は改善、病床環境は入院患者数増で4人部屋化は難しい。要検討

・ごみ焼却施設基幹的設備改良工事の締結↓全員一致可決

：全庁検討会や精密機能検査で、15億2千250万円で基幹的設備改修により平成35年まで延命化を図る。今後新炉の建設に向けて、市民参加で10年間の計画を検討

・火災予防条例の一部を改正する条例の制定↓全員一致可決

：電気自動車等の急速充電設備の位置、構造及び管理の基準を定める。市内では既に1台設置されている

・水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定↓全員一致可決

：小口径メーターの基本水量制を廃止し、基本料金と従量料金からなる料金体系に変更する。年間2千5百万円の減収分は、職員減や再任用職員の活用による人件費の削減など、経営努力で吸収

・平成23年度宝塚市水道事業会計決算↓全員一致認定

：給水人口23万3千790人、年間有収水量2千393万2千545立方メートル、有収率95・2パーセント。千846万3千700円の純利益

・平成23年度宝塚市下水道事業会計決算↓全員一致認定

：水洗化人口22万4千131人、年間有収水量2千390万4千529立方メートル、有収率90・2パーセント。2億2百万2千276円の純損失16億4千509万7千666円の資金不足が生じたが、損益勘定留保資金並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てん

・災害対応特殊救急自動車及び高度救命処置用資機材の取得↓全員一致可決

：2台を非常用と非常事態用として配備。平成25年度から救急隊を1隊・24名増やし、計6台を常時稼働



産業建設常任委員会 視察報告

視察地は委員会で候補地を話し合い、視察先の自治体と調整して、最終的には委員長・副委員長の判断で決定しました。

➤ 長崎市 「老朽空き家対策事業」

坂のまち長崎は、車も入れない路地とひしめく木造家屋で、通風の悪さと火災延焼の危険性が高い。そこで市は、寄付された老朽危険空き家を撤去し、地域住民が管理する遊び場・駐輪場・展望所に作り変える。こうして通風・採光などの生活環境を向上。別途、除却費補助金制度もある。

印象深いのは、暑い中、私たちの申し出に快く現地を案内して下さった職員さんたちや県立高校（福山雅治の母校！）の若い先生が、市役所で職場体験する制度で来られていたこと。また、市政112年の議場が、馬蹄形で議長席も低く、デモクラシーの息吹が感じられたこと。

➤ 宇部市（山口県） 「緑化事業一緑と花と彫刻のまちづくり 事業計画」

高度経済成長期、工業都市として飛躍を続けた宇部市は、その代償として公害問題が発生。その「降灰量日本一の公害のまち」を産官学民で克服。1960年代から「街路樹の緑化事業・花いっぱい運動」を展開した。国道には、各自治会が管理する花壇が競い合って続く。

その緑化整備とともに野外彫刻が設置され、2年に1度、野外彫刻の国際コンクール・展覧会（ビエンナーレ）が開



長崎市内、狭く階段の多い路地

催されている。この「UBE ビエンナーレ」は、日本最大の野外彫刻公募展。だから受賞作を非常に安価で入手（賞金500万円程度）できる。特にときわ湖周辺にある、ときわ公園は市民の憩いの場となり、1日遊べて、しかも芸術に触れ合うことができる。



ときわ公園には野外彫刻がいっぱい

➤ 福山市（広島県） 「鞆地区のまちづくり（活性化に向けた取り組み）」

最後の訪問地は福山市鞆町の伝統的建造物群保存地区。宮崎アニメで一躍有名になったまち。1996年策定の「鞆地区まちづくりマスタープラン」に基づき、修理工事等に500万円までの補助金を出している。8.6haに100棟の江戸時代の建物が残る町並みはスゴイ！だが、道路や下水道が未整備で住民の流出が進む。

「鞆港埋め立て・架橋計画」に市と地域で30年以上取組んできたが、県が事業計画中止を決定。景観が日常生活かで、県と市・地元が対立している。



鞆の浦、江戸時代の雁木。すぐ横からは、生活廃水が放流されている

議会改革の取り組み

昨年4月に施行された議会基本条例。議会のあり方や責務について、私たちはこの条例に基づいた改革を進めています。
(全国20～30万人都市の17.8%が制定)

<市民と議会の関係>

議会報告会 (全国20～30万人都市の15.6%が実施)

年4回行われる定例議会の終了毎に開催。市議26名が、前回から3会場に分かれ、議会の決定事項をお知らせしています。

私が担当する広報広聴委員会では、報告会の開催場所・時間帯・一時保育の有無などを検討。市民との意見交換や報告会報告をどうするかを現在、煮詰めています。



<議会の合意形成及び自由討議の保障>

議会の合意形成 (全国20～30万人都市の24.4%が実施)

以前は自分の意見を述べて、賛成か反対かを主張するだけでしたが、現在は議会討論の前に自由討議を行い、反対派を説得する努力をしています。

<最高規範性を見直し手続き>

議会改革検討委員会

今期の中間となる来春までに、各委員会で検証し、報告をします。

<議会と行政の関係>

議員と市長等執行機関の関係 (全国20～30万人都市の15.6%が実施)

市長等は議員の質問に、反問できます。

<議員の政治倫理及び待遇>

議員の政治倫理 (全国20～30万人都市の4.4%が実施)

「宝塚市議会議員の政治倫理に関する条例」で、資産・所得・関連会社・市税等納付状況などの報告書を議長に提出。閲覧できる。

<議会の運営>

議会の広報及び広聴 (全国の都市の35.1%が実施)

今議会からインターネット配信を始めました。

そのほか、

◎運転免許証の状況も、毎年報告

◎議長の選出方法で立候補制を導入(全国20～30万人都市の17.8%)

◎賛否が分かれた議案での議員の態度を公表

なども特色です。開かれた議会をめざし、更に取り組みを進めていきます。

直接請求があり、議案が提案されました

直接請求とは「地方公共団体の住民が、地方の政治に直接参加できる権利。一定数以上の住民の署名をもとに、議会やその他の機関に請求することができる」もの。今回は「条例の制定の請求」なので、有権者総数の50分の1(宝塚では3,732人)以上の署名をもって、代表者が地方公共団体の首長に請求し、首長は、これを議会で審議し、その結果を公表しなければなりません。議案とともに提出された市長の意見書は、職員・議員報酬は適正とみなし、議員定数は議会で決定すべきと述べています。

私は提案している3つのカット実現条例(議員定数・議員報酬・市長以下職員給与の削減)には賛成できません。

その理由は、①定数の比較をしている他市は、50万人以上の都市。宝塚は20～30万人都市で全国最少。②議員と特別職は、報酬は単純比較ではなく総合的に判断すべき。報酬審が多面的に検討し、結論が出ている。さらに夫々



全国消防救助技術大会
1位の飯田消防士長を
表彰(9月14日)

自主カットしている。③職員は、人事院勧告と国家公務員の給与に準ずる(宝塚は100.6)。

人事院の勧告は、民間の給与の基準となるもので、引き下げ合戦が激化すれば、民間の労働者の首を絞めることになるのです。

1970年、社会党議員団は共産党議員団と協力して、宝塚で初の直接請求運動をおこしました。しかし結果は否決。この時は、特別職の報酬に関して市長の諮問があり、報酬審が高率の値上げに応じない額を答申しました。しかし、半年後に再度市長の諮問があり、今度は報酬審が前回以上の高率の値上げを答申しました。このようなお手盛りに市民が怒り、直接請求では署名も法定数の4.2倍集まりました。



早苗田の会

杉山鮎水 選

十月 (特選) 九月 (特選)
秋時雨小走りに父の齢を越す
山鳩の訴へしきり秋暑し
神住むやどこまで続く鰯雲
新涼や地に臥す犬の緩き息
花石路の優し老母のごとくなり
汗ぬぐう巡礼の顔ほころびて
滔々と稲穂うねりて黄金河

淡史純茂 惠峯綾
紅郎子 子子
子輔

<会員募集中>

俳句は人の心のエッセンス。
句会は月1回大島事務所で開催。
ご参加の連絡をお待ちしています!

